

アトリエの部屋

4月春期講習報告号

小学校でも新学年がスタートし、お子様たちは毎日が新鮮に感じていることと思います。そしてまた、大きく変化する大学入試も近づきつつあります。その大学入試で問われる力——「思考力・判断力・表現力」。教育メソッド「まなびのアトリエ」では、この3つの力を中心に、「子どもが『自分自身』で力を伸ばす」というこれまでの学習塾とは異なった教育を行っております。

この広報紙「アトリエの部屋」では、前月に実施した授業内容をお伝えしていますが、これをきっかけに、多くの方にまなびのアトリエの活動を知っていただくと共に、「お子様の持つ多くの可能性」を見つけるきっかけにさせていただけたらと思います。

今回は、春期講習中の授業風景を子どもたちの表情や発言と共にご紹介します。

○ことば「できるかな」

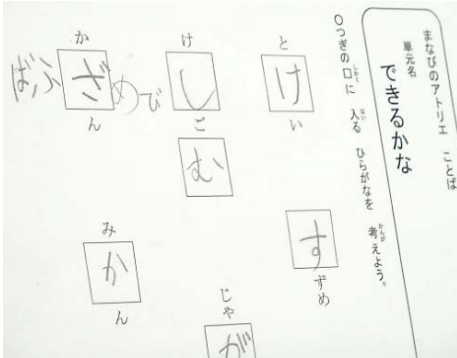
春期講習最初の授業は、在籍生・講習生が一緒になって話し合いができるカリキュラム「できるかな」。で一部を隠されていることばを考え、自身でも問題を作る内容です。

「と□い」「す□め」「が□うし」などは、比較的すらすら解けた子どもたちでしたが、「け□ご□」や「じゃ□□も」などの難易度が上がってくると、悩みはじめ困った表情に。友達やグループで話し合い教え合いながら、ことばの確認をしていくと、複数解答が考えられる問題があることに気づき、もう一度問題に挑戦！ 「か□ん」では、「かばん・かだん・かざん・かふん・かせん・かしん」など、たくさんの解答を見つけだし、新たな答えが出る度に「あっ！」「おおー！」と驚きと感嘆の声がたくさん上がりました。

問題を解いた後は、問題を作る活動へ。「みんなに解いてもらえる問題を作る」ことを意識しながら、子どもたちは身の周りの物や好きな食べ物、教室内の物などで問題を作成していきました。どんな問題にしようかとじっくり考える子ども、発想豊かにどんどん問題を作り上げていく子ども…と活動ペースは違いますが、どの子どもも問題を作り上げる度に、にっこり顔。自分で満足いく活動ができた喜びや、解く楽しさと作る楽しさを体感できた授業となりました。



↑ 考え、友達と話し合いながら答えを見つけ出したり、問題を作成したり。



↑ 答えの多様性に気づき、思考力と語彙量を活かして他の答えも
ないかを考えて。

☆特に育みたい効果

友達との交流、発想力、★思考力

★はアトリエ2年目の目標です。

○すうがく「折って切ろう」

二時間目のすうがくは、完成図を予想しながら折り紙を折って切る——その活動を通して、驚きや新しい発見、次の切り紙模様への楽しみが高まる、大人気の学習です。

まずは、ハサミを使う時の約束を確認。ハサミの使用注意は色々ありますが、アトリエでは特に「使い終わったらハサミを直す（容器などに入れる）」というルールを徹底しています。時には活動に夢中になって忘れることもありますが、自然と自分で、また周囲の友達からの言葉で「使ったら直す（整理整頓・安全性）」ことを身につけます。

次に、講師の提示した見本の形を切って、「切る→予想する→開く」の活動の流れを確認。その後は思うように折り紙を折って、ハサミを入れて…と個々の活動へ。予想と異なる切り紙に、「ロボットみたい！」「四角がたくさん面白い模様が出来たよ。」と歓声をあげながら、子どもたちは活動にどんどん没頭。あっという間の授業でしたが、「家に帰って、もっともっと続きをやる！」と笑顔で話す子どもの表情から、「自ら楽しんで取り組む」きっかけを得たことがうかがい知ることができました。



☆特に育みたい効果

発想力、発見力、
道具の扱い方、★思考力

↑どんな形になるか、手を使って表現したり頭の中で想像したりして
イメージしたら、端と端を合わせ丁寧に折って…さあ切ってみよう！

「まなびのアトリエ」は

創造学園
エディック

本山本部校、六甲校
北神本部校、名谷本部校、
垂水本部校、明石本部校、
手柄本部校

学園都市校、伊川谷校、西神南校、青山台校、
大久保本部校、二見校、加古川本部校、
にて開講中です。お気軽にお問合せ下さい！